

地域トピックス

◆今年の豊作を願う(上郷町)

地域の小正月行事を伝承する「もちっこフェスティバル」は1月14日、上郷地区センターで開かれ、参加した地域の子どもたちや高齢者など72人が交流を深めました。

参加者は全員でもちつきをしたり、みずき団子を飾った後は「カラス、カラス、もちっこけっからこーこ」と小さく切ったもちを空に投げてカラスを呼ぶ「カラスよばり」や、松の葉を稲の苗に見立てて雪の田んぼに植える「お田植え」などを行い、豊作を祈りました。



空にもちを投げ「カラスよばり」をする児童たち

◆手作りそりで冬を満喫(宮守町)

森の学校稲荷穴塾「そり作り・そり遊び」は1月11日、コテージランドかしわぎなどを会場に、町内の小学生20人が参加して開かれました。

午前中は木材を組み立て、全長約45センチの木製そりを作成。午後は場所を移し、そり滑りを行いました。既製品とは勝手が違う滑りに、初めは悪戦苦闘。次第にコツをつかむと、みんな時間がたつのを忘れ、何度も坂を駆け上がったのはそり滑りを楽しんでいました。



手作りのそりで坂を滑る児童たち



本田市長から記念品を受け取る荒川マサホさん

◆ますます元気に長寿を祝う

一月一日に百歳の誕生日を迎えた荒川マサホさんに、市からお祝いの記念品が贈られました。
一月六日、荒川さんが入所する遠野長寿の郷を本田市市長が訪れ、家族や施設職員が見守る中「ますます長生きしてください」と激励し、記念品の黒二ツ引たんすと花束を手渡しました。施設職員らからの「おめでとー」の祝福に、荒川さんは笑顔で答えていました。
荒川さんは明治三十九年、土淵町生まれ。若いころは、農業をしながら七人の子どもを育てました。食べ物に好き嫌いはなく、現在でも食事は残すことなくなんでも食べるそうです。



下校時の児童の安全を見守る奥友敏彦さん

◆地域の「みまもり隊」出動

「みまもり隊」と名付けられた同隊は、登下校時の児童を狙った事件が全国的に相次いでいることから、安全確保の一助にと結成されたもので、この日は二人の会員が遠野小児童の下校に付き添い、安全を見守りました。
遠野・宮守地域シルバー人材センターは「会員に呼び掛け、今後もみまもり隊の活動を試行的に続けたい」と話していました。

◆20歳の門出に決意を新た

平成十八年成人式は一月八日、市民センター大ホールで新成人三百七十人のうち三百人が出席して行われました。
式典は、新成人で組織した実行委員会が主催し、テーマは「Happiness」。実行委員長の四戸伸治さんが「大人としての自覚を持ち、責任ある行動をしていこう」とあいさつ。
本田市長らの祝辞に続き、新成人を代表して菊池俊彦さん(松崎町)と桜井千春さん(青笹町)が「人との関わりを大切にしていきたい」「世の中に貢献できるようにまい進したい」とそれぞれ二十歳の抱負を述べました。



20歳の抱負を述べる桜井千春さんと菊池俊彦さん

◆今年一年の防火を誓う

市消防出初式は遠野消防団が一月八日に、宮守消防団が十五日に行われ、市消防団員、市婦人消防協力隊員らが、今年一年の無火災に向け決意を新たにしました。
宮守消防団出初式では、午前八時五分の召集サイレンで町内三分団の団員ら約二百七十人が、宮守総合支所前に集合。統監の本田市長の観閲に続き、ラッパ隊を先頭に威勢よく桐町商店街を分列行進し、市民の安全と財産を守る気概を示しました。
分列行進の後には、宮守体育館で式典が行われ、消防活動に尽力してきた百七人、四部を表彰し、新たな飛躍を誓いました。



防火の決意を新たに分列行進を行う隊員ら

まちの話題



記念イベントに登場した中学時代の恩師に手を振る新成人

真剣勝負！ 将棋・囲碁大会



盤上で熱戦を展開する参加者

平成18年新春ふれあい将棋・囲碁大会(市青少年を育てる市民会議など主催)は1月11日、市勤労青少年ホームで行なわれ、29人が5部門に分かれ優勝を目指して自慢の腕を競いました。

各部門の優勝者は以下の通り。(敬称略)

【将棋の部】

小学校3・4年生 工藤晟耶(綾織小4年)
工藤晃耶(綾織小4年)
小学校5・6年生 奥友恒(遠野小6年)
中学生 佐々木健太(青笹中3年)

【囲碁の部】

小学校3・4年生 鈴木亮(遠野小4年)
小学校5・6年生 永田望(遠野小6年)